



鳥塚典恵さん

高齢者あんしんセンター希望館の管理者・主任ケアマネージャーとして活躍

奥野ミツ江さん

今年6月に見守りシステムを設置。8月に緊急通報で救急搬送、事なきを得た

富岡賢治市長

高齢者の暮らしを支えるため、全国に先駆けた、さまざまな福祉施策を進めている

新井正昭さん

平成13年から民生委員を務める。中川・浜尻地区会長。高齢者支援に尽力

殿木健さん

暮らし見守り振興センター常務理事。利用者の訪問確認など見守りに奔走



市長対談



24時間見守る無料のサービス ~孤独死ゼロを目指して~

高齢者等あんしん見守りシステム

緊急通報装置や**人感知センサー**で24時間365日、お年寄りを見守る「**高齢者等あんしん見守りシステム**」。一定時間反応がないなど、もしものときには、見守りセンターが救急車を手配したり、駆け付けたりしてくれます。今回は、このシステムを利用したことで助かった人、見守りセンターや高齢者あんしんセンターの職員、民生委員の皆さんを迎えてお話を伺います。

高齢者のもしものに備える 無料の見守りシステム

市長 ここ数年、お年寄りだけで住んでいるお宅が、ずいぶん多くなりましたよね。私は、市長になってから「高崎からは孤独死をなくす」と固い決意を抱いて、何か良い方策はないかと考えていたんです。現代は、情報機器が発展している時代だからセンサーが有用だ、という話を聞いて始めたサービスが「高齢者等あんしん見守りシステム」です。トイレなど、必ず通る場所にセンサーを付けて、12時間反応がなかったら見守りセンターに情報が伝わり、ご家族や近所、民生委員さんのところに連絡がいくという仕組みです。いざというときにはセンターの職員も現場に駆け付けてくれます。機器の貸し出しや対応については全て無料です。現在3800台ほど設置されていますが、まだまだこのシステムについて知らない人たちが多く、私はもっと広めていきたいと考えているんですよ。殿木さん、センターには、毎日どれくらいの通報がありますか。

殿木 12時間反応がないという通報を受けるのが、多い日で10件ほどです。あらかじめ登録してもらっている人に、異常を通知していますが、状況によってはこちらからも出動します。2日に1回は出動していますね。警察と連携して対応する場面もあります。今年に入ってから、自宅で倒れていたところを救急搬送されて、一命を取り止めたケースが3件ありました。

市長 それは良かったです。

もっていたんですね。

押すだけで通報 もしものときに威力を発揮

市長 奥野さんは、実際に見守りシステムを利用なさっているんですね。

奥野 はい。以前、救急車のお世話になったんですが、このシステムのおかげで助かりました。私は心臓を患っております。急に血圧が下がってしまったのですから、緊急ボタンを押して、見守りセンターに救急車を手配してもらったんです。

市長 すぐに来てくれたんですね。

奥野 はい。すぐに。本当に助かりました。ありがとうございます。

奥野 高齢者あんしんセンターの人に教えてもらって。市外から転入したばかりで、周囲に知り合いもなくて不安だったんですが、大変ありがたかったですね。ペダント型の通報装置も、家の中でいつも身につけています。

殿木 ボタンを押せば通報できる仕組みです。センターには、その人の病歴などの



見守りセンターで対応するスタッフ

殿木 人助けになったということで、こちらとしてもやりがいを感じますね。

市長 そうですか。ご苦労いただいてますね。見守りは24時間体制ですよ。

殿木 はい。昼間は女性4人、夜は男性3人が交代で対応しています。

民生委員とシステムの活用で 高齢者の安心を支える

市長 新井さんには民生委員としてご苦労いただいておりますが、高齢者世帯が増えている現代は、孤独死が大きな社会問題となっていますね。

新井 そうですね。高崎市には現在、70歳以上で一人暮らしの高齢者が1万1800人ほどいらっしゃいます。市内に約7000人いる民生委員は、地域の高齢者宅を定期的に訪問しています。限界があるのも事実です。24時間体制のあんしん見守りシステムを導入していただいたことは、民生委員にとっても非常にありがたい話です。市長も「孤独死をなくす」とおっしゃっているとおり、何人も実際に助かっていますから。

市長 地域のお年寄りの問題については、民生委員の皆さんにお世話になっていますが、何人もお年寄りに対応しきれないところもあるでしょう。お年を召した方々の問題は、地方自治体にとって、とても大きな問題ですから、工夫して、ベストを尽くさないと。

新井 高齢化社会になって二人暮らしのお年寄りが増えていきますから。そうした人たちの見守りは私たち民生委員にとっても

情報もあるので、すぐに対応できます。

新井 もしも具合が悪くなったときには、電話などできないこともあるでしょうが、ボタンを押すだけで通報できますからね。

市長 見守りセンサーに加えて、使い勝手の良い緊急通報装置が、さらに安心を支えてくれますね。

生活の状況に合わせて設置 皆で高齢者を見守る仕組みを

市長 見守りセンサーの設置は、どんな場所が多いんでしょう。

殿木 やはり、居間が多いですね。あとは寝室。

新井 設置の時に、お年寄りにもよく話を聞くんですよ。その人が番移動する場所に取り付けるんです。

市長 3人の通報先をあらかじめ決めるときには、民生委員さんの名前は必ず上がるんですね。家族が比較的少ないというのは、世相を現しているんでしょうかね。

奥野 子どもたちも働いていて、生活があることを考えるとなかなか…。

市長 子どもに面倒を見てもらうと考えている親御さんも、今はあまりいないでしょうからね。でもやっぱり、一人では大変なときもあるわけですから、こういう見守りシステムが必要なんだと思います。お年寄りの安心を支えるためには、私は社会で応援していくべきだと考えています。お年寄りには遠慮なしに、このシステムを利用していただきたいと思っています。今後とも皆さんのお力添えをお願いいたします。

同 ありがとうございます。